

キツネ VS タヌキ 勝つのはどっち？

館林・まちおこし大相撲大会

館林市内の観光資源を生かして地域活性化につなげようと、館林商工会議所などで行う実行委員会(新井利和実行委員長)は10日から、市内で「新春ぼんちゃん・こんちゃんのまちおこし大相撲大会」を開く。市内の50店舗が2チームに分かれ、各店がタヌキとキツネをテーマにしたメニューや商品を提供する。3月15日までの投票で勝敗を競う。



イベントの成功を誓う実行委員会のメンバーら

商品やメニュー 2チーム 50店舗競う

同市にはタヌキとキツネに関する伝説が残っており、実行委がこの伝説をまちおこしにつなげようと企画した。茂林寺の「分福茶釜」にちなんで「福分けタヌキ部屋」、館林城築城を先導したといわれるキツネ伝説に由来する「夢叶うキツネ部屋」に出場店舗を分け、各チームがサービスや商品の魅力などを競う。参加店舗は飲食やスポーツ用品、家具店などさまさま。タヌキ部屋は、市の観光マスコットキャラクター「ぼんちゃん」のピンバッチやサブレなどを販売する。キツネ部屋はキ

ツネをモチーフにした「こんちゃん」のピンバッチ、大きな油揚げを使用したきつねうどんなどを提供する。各店に用意された応募用紙で投票する。応募者の中から抽選で、旅行券(15万円相当)や金券、特製ステッカーなどをプレゼントする。実行委員長の新井さんは「2、3月はお店の閑散期になる。イベントをきっかけにぎわいを取り戻したい」と話した。問い合わせは事務局(0276・74・5121)へ。